



一般社団法人
日本産業カウンセリング学会
第25回(オンライン)大会プログラム

これからのキャリア・カウンセリングに 期待されるもの

技術革新、社会正義
2020以降の
社会を見据えて

2020/11/21 (土)
▶ 22 (日)
▶ 23 (祝)

協力 法政大学市ヶ谷キャンパス



一般社団法人日本産業カウンセリング学会 第25回（オンライン）大会
2020年11月21日（土）～11月23日（月・祝）

これからのキャリア・カウンセリングに期待されるもの
～ 技術革新、社会正義、2020以降の社会を見据えて ～

配信拠点：法政大学 市ヶ谷キャンパス
大会特設サイト：<https://jaic25th.info/>

大会参加等予約申込要領

予約申込について

- チケットは予約制です、イベント管理サイト Peatix「日本産業カウンセリング学会 第25回大会」より事前に、お買い求め下さい (<https://jaic25th.peatix.com/>)。
- チケット申込期間：2020年8月10日（月）～2020年11月12日（木）
- 原則、電話・FAX等では、お受けいたしかねます。
- オンライン開催の性質上、Zoom ミーティングが安定して利用できる環境が必要となります。
- 今大会は、個人研究・事例発表および自主シンポジウム申込、研修会参加についてもすべて込みの参加費用になっています。また、オンライン開催につき、大会プログラム・論文集共にPDF形式でのダウンロード配布となり、製本された冊子の配布は致しませんので予めご了承ください。
- ご不明な点が御座いましたら、大会準備事務局「jaic.conf.25th@gmail.com」までお問い合わせ下さい。

大会参加費

チケット区分	金額
当学会正会員	9,000円
非会員	12,000円
学生	4,000円

※社会人大学(院)に在学中の方は、学生区分といたします。

第25回大会テーマ

これからのキャリア・カウンセリングに期待されるもの ～技術革新、社会正義、2020以降の社会を見据えて～

目次

大会参加等予約申込要領	i
第25回大会の開催にあたって	
会長 廣川 進	1
大会実行委員長 宮内 正臣	2
大会参加者へのご案内（Zoomについて）	3
スケジュール	
大会初日：11/21（土）研修会	4
大会2日目：11/22（日）シンポジウム・研究発表・自主シンポジウム	5
大会3日目：11/23（月・祝）表彰式・研究発表・自主シンポジウム	6
研修会	
1. 質的データ分析：MGTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）の3つの要点	7
2. ポリティカリー・インフォームド・アプローチ：倫理・社会正義・政治と心理カウンセリングの統合	7
3. 量的データ分析：EXCELでできる簡単な統計分析	8
4. ナラティブ・セラピーに触れる：関心を持って話を聴くこと、聴いてもらうことへの招待	8
5. 組織に働きかけるナラティブ・アプローチ	9
6. 生活困窮者の包括的支援 ソーシャルワークとの連携	9
大会企画シンポジウム	
I. これからのキャリア・カウンセリングに期待されるもの	10
II. 働きがい改革としてのセルフ・キャリアドック	12
III. キャリア・カウンセリングにおけるスーパービジョンのあり方と課題	14
IV. 企業内キャリア形成の可能性 -ウィズコロナの今、私たちにできること	16
各賞表彰式・学術賞受講演	17
個人研究発表	18
自主シンポジウム	21
大会後援団体芳名	25
大会広告賛助団体芳名	26

第 25 回大会の開催にあたって

一般社団法人日本産業カウンセリング学会 会長 廣川 進
(法政大学キャリアデザイン学部)

当学会は来年4月「日本キャリア・カウンセリング学会」へ改称します。節目にあたる第25回大会は大会テーマを「これからのキャリア・カウンセリングに期待されること 技術革新、社会正義、2020以降の社会を見据えて」としました。

2020年以降の社会はコロナ禍の影響をどのように受けるのでしょうか。オンライン化、リモートワーク化は職場と働き方を変えていくでしょう。カウンセリングへの利用も進むでしょう。

また失業、貧困、自殺の増加、さまざまな格差の拡大、2極化は加速され、高齢化も急速に進みます。大きな転換期、過渡期を迎えることになるでしょう。

こうした時代にあってキャリア・カウンセリングには何が期待されるのでしょうか。カウンセラーは何をなすべきなのでしょう。

キャリア支援をささえる理論の柱の1つである心理学は、個人の内面に焦点をあてることが基本でした。そのためどうしても個人主義や自己責任論に傾きがちです。

あらためて、日本で起きている多層の現実を見据えながら、キャリア支援を考える際の「キャリア」や「カウンセリング」の概念を広げる必要があるのではないかと考えています。たとえば、

- ・ キャリアとはワークやライフも含む。
- ・ 「すべての人の生存から自己実現まで」を射程に入れる。
- ・ 支援領域は「産業」にとどまらず、「家庭」「学校」「地域」等を含んでいる。支援対象者は paid work の企業人労働者に限らず、あらゆる個人、学生もシニア層も、unpaid work の従事者（介護、ボランティア等）まで含む。
- ・ 個人はもちろん組織、コミュニティ、社会への有効な働きかけ、アプローチを模索する。
- ・ 上記の背景を踏まえた「カウンセリング」のマインドとスキルの向上を追求する。

こうした観点から、今大会は4つのシンポジウム、25の研究発表、7つの自主シンポジウム、6つの研修会を用意しました。大いに議論し今後のあり方を模索していけたらと思います。

多数のご参加をお待ちしています。

また今年は非会員の方の参加が多いのが特徴です。学会の雰囲気が気に入っていただけたら、ぜひこの機会にぜひご入会をお勧めします。学会というコミュニティ、仲間の輪はあなたの世界を豊かに広げるはずです。

今年の大会はすべてのプログラムをオンラインで開催するという初めての経験です。実行・準備委員会さえ一度もリアルで開かれたことはなく、すべて ZOOM でした。関係者のみなさんの献身的な働きによってここまで準備が成し遂げられたことに深謝します。なお不慣れなため運営上の何らかの不備、不具合も起こる可能性もありますが、どうかご賢察くださいますようお願いいたします。

(参考)

- ・ 下村英雄 (2020) 社会正義のキャリア支援 個人の支援から個を取り巻く社会へ広がる支援へ 図書文化社
- ・ D.L.ブルステイン (2018) ワーキング心理学 白桃書房

VUCA 時代のカウンセリングを考える場に

第 25 回大会実行委員長 宮内 正臣
(株式会社時空工房代表)

日本産業カウンセリング学会第 25 回大会の実行委員長を拝命しております宮内正臣と申します。今回は初のオンライン開催ということで、実行委員会メンバーも手探り状態で進めてまいりました。不行き届きな点もあるかと存じますが、With コロナの生きた事例となりますよう、ご参加くださっているみなさまにご満足いただけますよう、精一杯務めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

今回は研修会、自主シンポジウムの参加費も含めた一律の料金設定に致しました。ご自宅からお気軽にご参加いただけるオンラインのメリットをご体験いただきたいという趣旨です。従来、遠方の方には交通費・宿泊費などのご負担をいただいておりますが今回はご不要です。ご登壇いただく講師の方もご自宅から、国重先生はニュージーランドからお話しくださいます。どのプログラムからでもご参加いただけますのでお気軽にご参加いただければと思います。

リアルでの会員交流会は設定できませんが、当学会には経験豊富な「知の巨匠たち」がたくさんおられます。普段みなさまが疑問に思われている点など、どうぞチャット機能などでお尋ねいただければと存じます。

そしてオンラインではありますが、どうぞ当学会と、みなさま同士の「絆」についてもお考えいただく機会になればと存じます。こんなご時世だからこそ、改めて支え合う「絆」の重要性を感じております。人脈を社会関係資本（ソーシャル・キャピタル、ブルデュー 1974）といいます。私が研修などでよく作成していただく「人生のバランスシート」の無形資産（経験、知識、スキル、健康…）のなかでも大きな存在ですし、心理学者ハーシのボンド理論（愛着、投資、没頭、信念）でも強調されている点です。

どうぞこの初のオンライン学会で新たな学びとともに、ネットワーク形成にもお役立ていただけますよう心よりお願いを申し上げます。

大会参加者へのご案内（Zoom について）

第 25 回大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン会議サービス「Zoom」や、音声入りスライドを利用したリモート（オンライン）開催となります。

Zoom とは

Zoom とは、インターネット上に仮想的に作られた会議室に参加者が集まり、お互いの顔を見ながら双方向に会話が行えるサービスです。

参加者は、面倒なユーザー登録なども不要で、入室するための URL（リンク）をクリックするだけで会議に参加することができます。

大会のチケット購入者には、開催 3 日前までに入室情報がメールで届きますので、その情報を利用して大会に参加して下さい。初めて PC から参加する場合、最初の接続時にソフトウェアのダウンロードやインストール、セットアップ等が行われるため多少の時間を要します。

当日スムーズに参加するためにも、事前に Zoom 公式ダウンロードセンターより「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードし、インストールを済ませておくことをお勧めします。

最低限の利用環境として、ブラウザ（Internet Explorer/Edge/Google Chrome/Firefox/Safari）を使ってインターネットに接続でき、音声と動画が再生できる環境が必要となります。

例えば普段 YouTube などをご覧になられている環境であれば問題ありませんが、大会で質問など発言をしたい場合はマイクと、できれば Web カメラが利用できる環境をご用意下さい。

※スマートフォンやタブレットの場合は、事前にアプリケーションのインストールが必要となります。

< PC からの利用 >

Zoom 公式ダウンロードセンター : <https://zoom.us/download>

初めて利用される方は、以下の URL を利用した接続テストをお勧めします。

テストは無人で行われますので、カメラやマイクのミュート（消音）機能なども自由にお試し下さい。

Zoom 接続テスト : <https://zoom.us/test>

< スマートフォン・タブレットからの利用 >

iPhone の場合は App Store から、Android の場合は Google Play Store からアプリをダウンロードして下さい。

それぞれのストアで「zoom」と検索し「ZOOM Cloud Meetings」をインストールして下さい。

大会初日：11/21(土) 研修会

10:00		
10:30	Zoom4 [W1] 研修会 10:30 - 12:00	Zoom5 [W2] 研修会 10:30 - 12:00
11:00	<p>質的データ分析：M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）の3つの要点</p> <p>山崎 浩司 信州大学 医学部准教授（Ph.D.）</p> <p style="text-align: right;">(p.7)</p>	<p>ポリティカリー・インフォームド・アプローチ：倫理・社会正義・政治と心理カウンセリングの統合</p> <p>杉原 保史 京都大学学生総合支援センター長 教授（教育学博士）</p> <p style="text-align: right;">(p.7)</p>
12:00	休憩（60分） 12:00 - 13:00	
13:00	Zoom4 [W3] 研修会 13:00 - 14:30	Zoom5 [W4] 研修会 13:00 - 14:30
14:00	<p>量的データ分析：EXCEL できる簡単な統計分析</p> <p>高橋 浩 ユースキャリア研究所代表</p> <p style="text-align: right;">(p.8)</p>	<p>ナラティブ・セラピーに触れる：関心を持って話を聴くこと、聴いてもらうことへの招待</p> <p>横山 克貴 ナラティブ実践協働研究センター長</p> <p style="text-align: right;">(p.8)</p>
15:00	休憩（60分） 14:30 - 15:00	
15:00	Zoom4 [W5] 研修会 15:00 - 16:30	Zoom5 [W6] 研修会 15:00 - 16:30
16:00	<p>組織に働きかけるナラティブ・アプローチ</p> <p>国重 浩一 ナラティブ実践協働研究センター</p> <p style="text-align: right;">(p.9)</p>	<p>生活困窮者の包括的支援 ソーシャルワークとの連携</p> <p>関谷 大輝 東京成徳大学応用心理学部准教授 堀口 康太 白百合女子大学人間総合学部発達心理学科講師</p> <p style="text-align: right;">(p.9)</p>
17:00		

大会2日目：11/22(日) シンポジウム・研究発表・自主シンポジウム

10:00	Zoom5				
	大会挨拶／シンポジウム I 10:00 - 12:00				
	これからのキャリア・カウンセリングに期待されるもの ～技術革新、社会正義、2020以降の社会を見据えて～				
11:00	国重浩一（ナラティブ実践協働研究センター） 下村英雄（労働政策研究・研修機構キャリア支援部門 主任研究員） 渋谷駿伍（株式会社 Kakedas 代表取締役 CEO） 増田保美（厚生労働省キャリア形成支援室 室長補佐） 廣川進（学会会長・法政大学キャリアデザイン学部教授）				
	(p.10)				
12:00	休憩 (60分) 12:00 - 13:00				
13:00	シンポジウム II 13:00 - 14:30				
	働きがい改革としてのセルフ・キャリアドック ～個人と組織がともに成長・発展するために～				
14:00	山本浩司（厚生労働省・人材開発統括官付・キャリア形成支援室長） 宮城まり子（キャリア心理学研究所代表） 浅井公一（NTT コミュニケーションズ株式会社 キャリアコンサルティング・ディレクター） 水野みち（株式会社日本マンパワー フェロー） 高橋浩（ユースキャリア研究所代表） 小玉一樹（福山平成大学経営学部経営学科教授・当学会副会長）				
	(p.12)				
15:00	休憩 (30分) 14:30 - 15:00				
	Zoom1	Zoom2	Zoom3	Zoom4	Zoom5
	[R1] 研究発表 15:00 - 16:40	[R2] 研究発表 15:00 - 16:40	[S1] 自主シンポ 15:00 - 16:40	[S2] 自主シンポ 15:00 - 16:40	[S3] 自主シンポ 15:00 - 16:40
16:00	座長：原 恵子 ・ 関谷 香奈 15:00 - 15:30 ・ 原 恵子 15:35 - 16:05 (p.18)	座長：馬場 洋介 ・ 田中 小百合 15:00 - 15:30 ・ 太原 靖一郎 15:35 - 16:05 ・ 渡部 昌平 16:10 - 16:40 (p.18)	カウンセリング、時代 が変わっても変わらない もの 企画：浅野 衣子 ・ 八巻 甲一 ・ 国重 浩一 (p.21)	オンラインによるキャリア サービス ～その可能性 と課題～ 企画：長谷川 能扶子 ・ 増田 保美 ・ 渋谷 英雄 ・ 中村 憲生 ・ 水野 修次郎 (p.21)	企業領域に関わるキャ リアコンサルタントにとっ て大切な視点と学び 企画：小倉 浩靖 ・ 山本 浩司 ・ 藤田 真也 ・ 山口 満 ・ 柴田 郁夫 ・ 仁平 幸子 ・ 早川 徹 (p.22)
17:00					

大会3日目：11/23(月・祝)表彰式・研究発表・自主シンポジウム

10:00	Zoom5 10:00 - 11:30 各賞表彰式 (15分) 第24回大会 個人研究・事例発表 優秀賞 吉川雅也 殿 同 奨励賞 佐藤敦子 殿・江口圭一 殿 同 奨励賞 木下城康 殿 学会賞・学術賞・特別功労賞等の発表および表彰 学術賞受賞講演 (20分×3名) 仙波 亮一 殿 平成28年度 第21回学術賞受賞 高橋 浩 殿 平成30年度 第23回学術賞受賞 小坂 淑子 殿 平成31年度 第24回学術賞受賞 (p.17)			
12:00	休憩 (50分) 11:30 - 12:20			
	Zoom4 シンポジウムⅢ 12:20 - 13:50		Zoom5 シンポジウムⅣ 12:20 - 13:50	
13:00	キャリア・カウンセリングにおけるスーパービジョンのあり方と課題 ・浅野 衣子 (キャリア開発サポーターズ代表取締役) ・三川 俊樹 (追手門学院大学心理学部教授) ・南 陽子 (1級キャリアコンサルティング技能士) ・小澤 康司 (立正大学心理学部教授) (p.14)		企業内キャリア形成の可能性 -ウィズコロナの今、私たちにできること- ・石山 恒貴 (法政大学大学院教授) ・田中 研之輔 (法政大学キャリアデザイン学部教授) ・宮内 正臣 (株式会社時空工房代表取締役) (p.16)	
14:00	休憩 (10分) 13:50 - 14:00			
	Zoom1 [R3] 研究発表 14:00 - 15:40	Zoom2 [R4] 研究発表 14:00 - 15:40	Zoom4 [S4] 自主シンポジウム 14:00 - 15:40	Zoom5 [S5] 自主シンポジウム 14:00 - 15:40
15:00	座長：古田 克利 ・谷口 千砂 14:00 - 14:30 ・中村 准子 14:35 - 15:05 ・古田 克利 15:10 - 15:40 (p.18)	座長：杉山 崇 ・石井 真奈 14:00 - 14:30 ・森本 康太郎 14:35 - 15:05 ・杉山 崇 15:10 - 15:40 (p.19)	キャリアコンサルティングの実際とその支援・指導について：サポートにおける社会正義・SDGs・ディーセントワークをどう扱うか 企画：五十嵐 敦 ・藤田 廣志 ・星野 宏 ・田崎 慎子 (p.22)	大学院で学ぶことの意義 (大喜利風) 企画：宮内 正臣 ・一柳 晶子 ・関谷 香奈 ・宮内 正臣 ・廣田 奈穂美 ・田北 順子 ・岩元 健一郎 ほか (p.23)
16:00	休憩 (10分) 15:40 - 15:50			
	Zoom1 [R5] 研究発表 15:50 - 17:30	Zoom2 [R6] 研究発表 15:50 - 17:30	Zoom4 [S6] 自主シンポジウム 15:50 - 17:30	Zoom5 [S7] 自主シンポジウム 15:50 - 17:30
17:00	座長：小玉 一樹 ・一柳 晶子 15:50 - 16:20 ・黒沢 拓夢 16:25 - 16:55 ・服部 文彦 17:00 - 17:30 (p.21)	座長：三好 真 ・三浦 玲 15:50 - 16:20 ・芹原 万智子 16:25 - 16:55 ・小松原 智子 17:00 - 17:30 (p.21)	キャリア支援者は社会正義を実現できるのか 企画：渡部 昌平 ・木下 城康 ・田中 小百合 ・堀口 恵子 ・渡部 昌平 (p.23)	パワハラ対応・対策でカウンセラーができること 企画：廣川 進 ・下園 壮太 ・戸上 尚子 ・田中 淳子 (p.24)

10:30～12:00

W1 [Zoom4]	質的データ分析：M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）の3つの要点
<p>M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）は、人と人がかかわりあうという社会的相互作用にまつわる現象の説明と予測を可能にする、実践的な理論を産み出す質的研究のアプローチです。日本の保健医療、福祉、心理、教育、経営など、多様なヒューマンサービス領域における質的研究で使われています。本研修では、具体的な研究例を参照しながら、M-GTAにおける分析の3つの要点（分析テーマの設定、分析焦点者の設定、分析ワークシートの活用）を確認し、分析結果として最後に理論を生成するまでの全過程を詳しく解説します。また、M-GTAを使った質的研究を現在実施している、あるいは今後実施しようとして計画している会員のために、自己学習に役立つ関連書籍の紹介や、研究を進めるうえで参考になるアドバイスの提供も行う予定です。90分間と限られた時間ではありますが、M-GTAという質的研究方法論の魅力や、少しでも皆さんにお伝えできればと思います。</p>	
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 15%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 85%;"> <p>山崎浩司（やまざき・ひろし） 信州大学 医学部准教授（Ph.D.）。1970年米国ワシントン D.C.生まれ。専門は死生学、社会学、質的研究。近年は、死別体験者に支援的なまちづくりの検討（長野県・中信地方の有志市民との協働）、いのちがテーマのマンガを題材にした死生学的考察および教育、配偶者死別の研究に取り組んでいる。また、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）を中心に、質的研究方法論に関する研究や教育も行なっている。</p> </div> </div>	

W2 [Zoom5]	ポリティカリー・インフォームド・アプローチ：倫理・社会正義・政治と心理カウンセリングの統合
<p>心理カウンセリングは面接室の二者関係に閉じられたものでは決してありません。面接室の中で扱われる現象は、それを取り巻く社会の文脈においても理解される必要があります。クライアントの苦悩は単にクライアント個人の問題ではなく、単に家族システムの問題でもなく、社会政治的な問題でもあるのです。カウンセラーのいわゆる逆転移も、同様に、単にカウンセラー個人の問題ではなく、単にカウンセラーの家族システムの問題でもなく、社会政治的な問題でもあります。ポリティカリー・インフォームド・アプローチは、社会政治的な要因を考慮に入れた心理カウンセリングへのアプローチです。近年、アメリカ心理学会のカウンセリング部会やアメリカ・カウンセリング学会など、重要な専門家コミュニティが心理カウンセリングのコア・バリューとして社会正義の推進を掲げていますが、それもこのアプローチと軌を一にしたものです。</p> <p>日本ではあまり知られていないこのアプローチを、産業カウンセリング学会の皆さんと一緒に探索してみたいと願っています。</p>	
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 15%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 85%;"> <p>杉原保史（すぎはら・やすし） 京都大学学生総合支援センターセンター長、教授（教育学博士）。臨床心理士・公認心理師。心理療法統合学会、副理事長。1961年神戸市生まれ。</p> <p>専門は、学生相談、青年期・成人期の心理療法、特に心理療法への統合的アプローチ。心理療法統合運動を導いたポール・ワクテルの著作をこれまでに5冊翻訳している。伝統や権威に縛られず、効果的な心理支援のあり方を模索しており、最近では SNS を用いたカウンセリングの推進にも取り組んでいる。</p> </div> </div> <p>著書に『プロカウンセラーの共感の技術』（創元社）、『プロカウンセラーの薬だけに頼らずうつを乗り越える方法』（創元社）、『技芸としてのカウンセリング入門』（創元社）、『キャリアコンサルタントのためのカウンセリング入門』（北大路書房）、『心理カウンセラーと考えるハラスメントの予防と相談』（北大路書房）、『SNS カウンセリング・ハンドブック』（共編・誠信書房）など</p>	

W3 [Zoom4]	量的データ分析：EXCEL でできる簡単な統計分析
<p>研究をするうえで統計分析は避けて通れない関門です。特にカウンセリングや心理療法など心理支援の専門家にとっては馴染みの薄い領域かもしれません。また、統計分析で使用するツールは高価であったり、プログラミングが必要であったりと、取り組むうえでハードルが高いこともあります。そこで、本研修では、身近なツールである EXCEL を用いた統計分析の手順を学んでいきます。EXCEL には統計分析に関連した「関数」と「分析ツール」が備わっていますので、これらを使って t 検定、分散分析、相関分析などの分析方法を解説します。どのような分析から何がわかるのか、調査データ例と合わせて紹介します。難しい数式はいっさい登場しません。これから研究を始めようとしている方、あるいは、データは取ったものの分析の前で立ち止まっている方など、統計分析の入門者におすすめの内容になっています。</p>	
<p>高橋浩（たかはし・ひろし）</p>	
	<p>ユースキャリア研究所代表。法政大学などの大学講師。博士(心理学)・国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師。1987年、日本電気のグループ会社に入社し半導体設計、経営企画、キャリア相談に従事。2001年、CDAを取得、2012年、博士号取得を機にキャリアカウンセラーとして独立。現在は、行政や大手企業でのキャリアカウンセラー、キャリア開発研修講師などを務めている。2016年～2020年、厚生労働省委託事業にてセルフ・キャリアドック導入推進の委員やアドバイザーを務めている。著書『社会人のための産業・組織心理学入門』（共著・産業能率大学出版部）、『セルフ・キャリアドック入門』（共著・金子書房）など。</p>

W4 [Zoom5]	ナラティブ・セラピーに触れる：関心を持って話を聴くこと、聴いてもらうことへの招待
<p>今回、「ナラティブ・セラピー」について、お話する機会をいただきました。私の取り組んでいるナラティブ・セラピーは、オーストラリア人のマイケル・ホワイトとニュージーランド人のデイヴィッド・エプストンの貢献によって形作られたアプローチです。このアプローチは、どうすれば目の前の人に敬意を払いながら、その人のために大切な、豊かな会話を続けていくことができるのか、そんな意図や方向性を持っています。今回は、今学び始めている方や、少し興味を持った所にいるという方も参加されるだろうということで、ナラティブ・セラピーがどのような姿勢で会話に臨むか、そしてその会話はどのようなものになりうるのか、そんなところを感じてもらえればと思っています。</p> <p>具体的には、今上にあげたようなところをお話して、その後、実際に参加者同士で「ナラティブの視点を持った質問を持って、相手の話を聞いてみる」ようなワークをしたいと思っています。</p> <p>90分という短い時間ですが、ナラティブ・セラピーというものに、触れて感じていただける時間になればと思っています。</p>	
<p>横山克貴（よこやま・かつき）</p>	
	<p>一般社団法人 ナラティブ実践協働研究センター センター長、東京大学大学院 教育学研究科 博士課程在学、臨床心理士。</p> <p>1990年、神奈川県相模原市生まれ。東京大学大学院にて臨床心理学を学び、語りやナラティブについての質的研究に取り組む。その傍らでナラティブ・セラピーと出会い、強く惹かれ、2018年、ワイカト大学のカウンセラー養成コースに1年間留学してこれを学ぶ。帰国にあわせ、2019年に仲間と共に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターを立ち上げる。現在は、同法人にて、ナラティブ・セラピーの実践や研究、その普及に取り組んでいる。</p> <p>著書に、『ナラティブ・セラピーのダイアログ 他者と紡ぐ治療的会話、その〈言語〉を求めて』（共編著、北大路書房）。</p>

W5 [Zoom4]	組織に働きかけるナラティブ・アプローチ
<p>私たちの目に映るさまざまな問題、そして、その問題の解消あるいは解決を目指すためのさまざまな方法論があります。ナラティブ・アプローチは、そのような今見えている問題に真っ向から対応するのではなく、そのような問題は、どうしてそのように見えているのかについての検討から着手します。</p> <p>このような方向性の背後には、私たちのものの見方、捉え方、意味づけは、社会文化的な影響を受けており、それとの関係性、そして人と人との関係性の中から立ち現れてくるといふ、社会構成主義的な視点があります。この視点を手にしてみると、私たちの解決努力そのものが問題存続に貢献してしまっていることだっただけでなく、見えてきてしまうのです。</p> <p>対人支援の中で育まれてきたナラティブ・アプローチを、組織開発の領域についてどのように活用するのだろうか、ということについて、私は直接の経験を持ち合わせていません。私は、対人支援の領域で活動してきました。組織開発の領域で応用していくための検討は、みなさんと一緒にしていく必要があります。このワークショップが、検討を始めるための起点となってもらえればと願っています。</p>	
<p style="text-align: center;">国重浩一（くにしげ・こういち）</p> <p>1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地NPO法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。著書に、『ナラティブ・セラピーの会話術』（金子書房）、『震災被災地で心理援助職に何ができるのか？』（編著）、『どもる子どもとの対話』（共著、金子書房）。訳書に、『ナラティブ・アプローチの理論から実践まで』、『ナラティブ・メデイエーション』、『心理援助職のためのスーパービジョン』（ともに共訳）など。</p>	
	

W6 [Zoom5]	生活困窮者の包括的支援 ソーシャルワークとの連携
<p>コロナ禍の今、これまでの働き方、暮らし方では生活維持が厳しい人が増加しています。</p> <p>生活には、就労、介護、医療、教育、家族関係などさまざまな問題があり、単に就職先が決まれば問題が解決するというわけではありません。対人支援職である私たちにできることはどのようなことがあるのか、包括的な支援をどのように進めていけばよいのでしょうか。生活インフラの担い手である地方自治体での現場経験を踏まえて、検討していきたいと思ひます。今回は一つの事例を取り上げ、支援計画を作成していただくようなグループワークも試みたいと思ひます。</p>	
<p style="text-align: center;">関谷大輝（せきや・だいき）</p> <p>東京成徳大学応用心理学部准教授。1977年、埼玉県生まれ。早稲田大学第二文学部卒業後、横浜市役所（社会福祉職）に入庁し、福祉事務所および児童相談所において、ケースワーカーとして勤務。公務員としての仕事の傍ら、筑波大学大学院修士課程教育研究科カウンセリング専攻（カウンセリングコース）、同大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士後期課程を修了。博士（カウンセリング科学）。2013年より、現職。社会福祉士、精神保健福祉士、国家資格キャリアコンサルタント、公認心理師、温泉ソムリエ。</p> <p>著書に『あなたの仕事、感情労働ですよ？』（単著、花伝社、2016）『職業的感情管理および仕事と家庭の分離が養育行動に及ぼす影響—共働きの母親を対象とした検討—』（健康心理学研究、特集号、2019）など</p>	
<p style="text-align: center;">堀口康太（ほりぐち・こうた）</p> <p>白百合女子大学人間総合学部発達心理学科講師、筑波大学働く人への心理支援開発研究センター非常勤研究員。2006年川崎市入庁（社会福祉職）。児童相談所および、区役所での児童家庭相談・生活保護、本庁での児童虐待対策等に従事。筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻修了（博士：生涯発達科学）。2017年～2020年3月筑波大学人間系附属学校教育局特任助教を経て、2020年4月より現職。臨床発達心理士、社会福祉士、専門社会調査士、公認心理師。</p> <p>著書に大川一郎・土田宣明・高見美保編著（2020）『基礎から学べる医療現場で役立つ心理学』ミネルバ書房。（分担執筆）。</p>	
	
	

大会企画シンポジウム I OFFICIAL SYMPOSIUM 1

●11月22日(日)大会2日目 10:00~12:00 [Zoom5]

これからのキャリア・カウンセリングに期待されるもの ～技術革新、社会正義、2020以降の社会を見据えて～

(敬称略、順不同)

シンポジスト	国重 浩一	ナラティブ実践協働研究センター
	下村 英雄	労働政策研究・研修機構キャリア支援部門 主任研究員
	渋谷 駿伍	株式会社 Kakedas 代表取締役 CEO
	増田 保美	厚生労働省キャリア形成支援室 室長補佐
司 会	廣川 進	法政大学キャリアデザイン学部 教授、当学会会長

【企画主旨】

現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、私たちの職場環境、日常生活も大きく変化し、在宅勤務、オンライン授業、および、オンラインカウンセリングの浸透等、働く環境や教育環境の大きな変化に直面し、「With・コロナ」の2020以降の社会を見据えて、価値観の転換を迫られている状況です。

この節目となる2020年、今後、世の中から期待されるキャリア・カウンセリングはどのようなものなのか、学会が果たせる役割は何なのか等、シンポジウムに参加される皆様と一緒に考える機会にしたいと思っております。今回のシンポジウムでは、ナラティブ・セラピーの実践者、社会正義のキャリア支援を提唱する研究者、オンラインカウンセリングのインフラを構築中の若手起業家、そして、キャリア・カウンセリングを政策で支援する行政の代表者にご登壇いただき、多面的に議論していただくことで、これからのキャリア・カウンセリングに期待されるものを展望します。当日、会員の皆様と将来を見据えた熱い議論ができればと思います。

【シンポジスト】



国重 浩一 (くにしげ・こういち)

<メッセージ>

ナラティブ・セラピーの実践に取り組んでいます。の中で、カウンセリングの理論的な側面を積み上げていくことの大切さがある一方で、どのように相手とやりとりするのかという実際の技術を磨いていくことの重要性を感じています。カウンセリングは、勉強する、教わるということだけでは不十分で、練習、または訓練していくことが必要なものであるということです。そして私たちの姿勢は、さまざまな考え方や価値観を反映するものでもあります。クライアントの発言の何を支持し、何を支持しないのかということが、私たちの姿勢に表れてしまうのです。

そして、今回の大会のテーマである「社会正義」ということにつながるのですが、その姿勢の中でどのように社会正義に取り組むのかが見えてしまうのです。技術的な側面でいえば、若い頃科学に興味を持ち、電子工学を学んだものとして、コミュニケーション手段の多様化に興味を持っています。一方で、興味があるからこそ言えるのですが、このような技術に過大な期待もしていません。実際に使える一つの手段として、利用していきたいと考えています。

私に関わっているナラティブ実践協働研究センターのワークショップでは、今年3月初旬からオンライン化を進めてきていますが、オンラインだけにすることはないと考えています。会場に集まって実施することをなくすことはないでしょう。しかし、可能なところでは、オンラインとオフラインを併用して、つまりハイブリッド形式を採用したいと考えています。

<プロフィール>

1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地NPO法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。著書に、『ナラティブ・セラピーの会話術』(金子書房)、『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?』(編著)、『どもる子どもとの対話』(共著、金子書房)。訳書に、『ナラティブ・アプローチの理論から実践まで』、『ナラティブ・メデイエーション』、『心理援助職のためのスーパービジョン』(ともに共訳)など。



下村 英雄 (しもむら・ひでお)

<メッセージ>

新型コロナウイルスによる社会的な大混乱は、2020 以降のキャリア環境の決定的な変化を我々に予感させました。技術革新によって遠隔地と容易につながることが可能となり、今後、新たに求められる働き方も、それを支えるキャリア・カウンセリングも自ずとその形を変化させると想定されます。その際、現在、主流のナラティブ・コンストラクティブな動向と、それと軌を一にする形で進展してきた多文化・社会正義の動向は表裏一体となり、相補いながら、これからのキャリア・カウンセリングの将来像を取り結ぶ可能性があることを示したいと思います。

<プロフィール>

労働政策研究・研修機構キャリア支援部門主任研究員。筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士（心理学）。主著に『社会正義のキャリア支援—個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ』（図書文化社）、『成人キャリア発達とキャリアガイダンス：成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』労働政策研究・研修機構（平成 26 年度労働関係図書優秀賞）、『キャリア・コンストラクション ワークブック：不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』（金子書房）、『ヘルピング・スキル第 2 版—探求・洞察・行動のためのこころの援助法』（金子書房）など。産業カウンセラー、2 級キャリアコンサルティング技能士。



渋川 駿伍 (しぶかわ・しゅんご)

<メッセージ>

日本をはじめとする先進国では、これまでの経済成長によって多くの恩恵を受けてきました。昭和から平成へと駆け抜けた激動の時代。その経済発展にともなって、水道/ガス/電気などハードのインフラは完全に整備されました。ただ、その一方でソフトのインフラは、誰も設計していませんでした。その歪みは、ゆっくりと、だけどたしかにじわじわと。この国を追い詰めていることは事実。これからは、新しい時代の幕開けです。令和のいま、日本に必要なのは相談のインフラです。この国に適切な対話空間を設計し、人生の主人公を増やすことこそが、私たち Kakedas

(カケダス) の使命です。次の時代の当たり前をつくる「Kakedas (カケダス)」を、これからよろしくご願ひ致します。

<プロフィール>

人生のミッションは「社会のワクワクの総量を増やす」こと。1998 年生まれの 22 歳。高校時代は地元長野県で高校生カフェを創設。卒業後は 1 年間のギャップイヤーを取得。日本をヒッチハイクで周り、お金を使わない実験やインターンシップを経て、日本ポップコーン協会設立。同年、MIT の MicroMasters プログラムに進学。自身の経験から、Kakedas のサービスに至る。情報経営イノベーション専門大学客員教員 TBS『マツコの知らない世界』News Picks『The Update』他多数出演



増田 保美 (ますだ・やすみ)

<メッセージ>

新型コロナウイルス感染拡大防止や働き方改革などの広がりにより、個々人のキャリア自律の必要性は、より一層高まっていくものと考えます。こうした中で、キャリア支援の専門家であるキャリアコンサルタントが果たすべき役割やキャリアコンサルタントに寄せられる期待も更に大きくなっていくものと感じています。オンラインによるキャリア相談も含め、キャリアコンサルティングが労働者の身近な社会インフラとして日本社会に根付くように、必要な施策を今後とも進めて行きたいと考えています。

<プロフィール>

福岡県出身。平成 15 年に厚生労働省に入省。ハローワークの業務指導、障害者雇用対策、地域雇用対策などを担当。平成 31 年 4 月からキャリア形成支援室長補佐。最近の自身のキャリア形成上の課題は、仕事と子育てとの両立。

趣味は約 30 年ぶりに再開したピアノ。某 TV 番組「空港ピアノ」にあこがれて、格好良い 1 曲を弾けるようになるため鍛錬中。

【司会】



廣川 進 (ひろかわ・すすむ)

<メッセージ>

昨年、私がこの学会の会長をお引き受けしたときから心がけていることは「イノベーション」です。予定調和や安定の対局にあり、そこには様々な抵抗や葛藤が生まれますが、これからの時代を切り開くためにはそこを超えていくしかないのです。これまで、年齢差 40 歳もあるシンポジストが出るシンポがあったでしょうか。異質なものの摩擦から生まれるクリエイティブでイノベティブな討議をお楽しみに！

<プロフィール>

1959 年生まれ。法政大学キャリアデザイン学部教授。大正大学大学院博士課程（臨床心理学専攻）修了（文学博士）。著書に『失業のキャリアカウンセリング』（金剛出版）、『成人発達臨床心理学 個と関係性からライフサイクルを観る』共著（ナカニシヤ出版）、『統合的心理臨床入門』（共編著）ミネルヴァ書房など。公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2 級キャリア・コンサルティング技能士。日本産業ストレス学会理事。

大会企画シンポジウムⅡ OFFICIAL SYMPOSIUM2

●11月22日(日) 大会2日目 13:00~14:30 [Zoom5]

働きがい改革としてのセルフ・キャリアドック
～個人と組織がともに成長・発展するために～

(敬称略、順不同)

シンポジスト	山本 浩司	厚生労働省・人材開発統括官付・キャリア形成支援室長
	宮城 まり子	キャリア心理学研究所代表
	浅井 公一	NTTコミュニケーションズ株式会社 キャリアコンサルティング・ディレクター
	水野 みち	株式会社日本マンパワー フェロー
	高橋 浩	ユースキャリア研究所代表
司 会	小玉 一樹	福山平成大学経営学部経営学科教授、当学会副会長

【企画主旨】

新型コロナを契機に、組織ではニューノーマルといわれる新たな働き方が模索されています。一方、働く側もライフとキャリアの新たなあり方に直面しているのではないのでしょうか。既成の働き方から脱却すると同時に、働く側が自らの「キャリア」と「働く意味」を創造する好機であるともいえます。すでに、「セルフ・キャリアドック」では個人と組織の共栄を目指した取り組みが進められていますが、個人のパフォーマンス向上にとどまらず「働きがい」を生み出す支援が求められるのではないのでしょうか。このシンポジウムでは、厚生労働省、企業の実践者、その育成者や支援者、研究者といった多角的な視点から、セルフ・キャリアドックにおける「働きがい」を生み出すキャリア支援の在り方、支援者の役割、その仕組みについて、ディスカッションを通じて迫りたいと思います。

【シンポジスト】

山本 浩司 (やまもと・こうじ)

<プロフィール>



厚生労働省・人材開発統括官付・キャリア形成支援室長。1992年入省。2019年から現職。キャリア支援政策の企画立案（キャリアコンサルタント登録制度の運営、キャリアコンサルティングの普及促進、ジョブ・カードの普及促進など）。これまで関わってきた仕事は、ハローワーク関係業務の運営企画（@厚生労働省）、窓口サービス向上のための業務・労務管理（@神奈川、福島、鹿児島各労働局など）。携わった政策で印象深いものは、新たな在留資格の外国人材受入れ施策（2018年度）、東日本震災復興のための雇用対策、リーマンショック後の緊急雇用対策、教育訓練給付制度の創設など。出身は大阪府。趣味は、①水泳（年間計100キロを継続）、②登山（百名山は残り三座）、③スノボ。

宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

<プロフィール>



臨床心理士、早稲田大学大学院文学研究科修士課程心理学専攻終了。元立正大学臨床心理学部教授、法政大学キャリアデザイン学部、同大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て、現在はキャリア心理学研究所代表。大手企業のキャリア相談室のスーパーバイザー、メンタルとキャリアの統合的カウンセリングの担当、また、キャリアコンサルタント養成講座の講師、企業におけるキャリア研修、キャリア開発の講演、留学生のキャリア面談と支援などを行っている。主著『キャリアカウンセリング』『職場のメンタルヘルス』『産業心理学』『キャリアカウンセリングのナラティブアプローチ』他多数



浅井 公一（あさい・こういち）

<プロフィール>

NTT コミュニケーションズ株式会社ヒューマンリソース部人材開発部門キャリアコンサルティング・ディレクター。国家資格キャリアコンサルタント。高校卒業後、電電公社に入社。1999年、NTT再編時にNTTコミュニケーションズに配属。2006年から労働組合の幹部を歴任した後、2013年、現職に異動と同時にベテラン社員のキャリア開発とモチベーション向上に取り組む。たった一人でキャリア面談を積み重ね、その数は6年間で1,600人を超えた。圧倒的な面談量をもとに作りあげられていった面談スタイルが、キャリア形成に悩むベテラン社員たちにシンクロ。結果、面談を受けた社員の上司の9割が面談を受けた社員の行動変容を認めている。著書に「ビジトレ～今日から始めるミドルシニアのキャリア開発～」(2020 金子書房 共著)。



水野 みち（みずの・みち）

<プロフィール>

株式会社日本マンパワー フェロー。NPO 日本キャリア開発協会認定スーパーバイザー、国家資格キャリアコンサルタント、ACCN理事。国際基督教大学卒業。1999年より日本マンパワーでキャリアカウンセラーの養成事業に参画。JCDAの立ち上げ、キャリアコンサルタント養成講座プログラム開発・テキスト執筆に携わる。2005年にペンシルバニア州立大学にて教育学修士(カウンセリング)取得。現在は企業内のキャリアカウンセリング、キャリア開発、組織開発に従事。



高橋 浩（たかはし・ひろし）

<プロフィール>

ユースキャリア研究所代表。法政大学などの大学講師。博士(心理学・立正大学)・国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師。1987年、日本電気のグループ会社に入社し半導体設計、経営企画、キャリア相談に従事。2001年、CDAを取得、2012年、博士号取得を機にキャリアカウンセラーとして独立。現在は、行政や大手企業でのキャリアカウンセラー、キャリア開発研修講師などを務めている。2016年~2020年、厚生労働省委託事業にてセルフ・キャリアドック導入推進の委員やアドバイザーを務めている。主著『社会人のための産業・組織心理学入門』(共著・産業能率大学出版部)、『セルフ・キャリアドック入門』(共著・金子書房)他。

【司会】



小玉 一樹（こだま・かずき）

<プロフィール>

福山平成大学経営学部経営学科教授、日本産業カウンセリング学会副会長。金融機関、移動体通信業、研究機関、小売流通業などの企業を経て現職。小売流通業の人事部門において、採用活動だけでなく産業・組織心理学、キャリアコンサルティング、産業カウンセラーなどの知見を活かしながら、人事制度や教育制度の再構築のほか、メンタルヘルス対策の構築、従業員相談業務などに従事。

●11月23日(月・祝) 大会3日目 12:20~13:50 [Zoom4]

キャリア・カウンセリングにおけるスーパービジョンのあり方と課題

(敬称略、順不同)

シンポジスト 浅野 衣子 株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役
三川 俊樹 追手門学院大学心理学部教授
南 陽子 1級キャリアコンサルティング技能士、シニア産業カウンセラー
司 会 小澤 康司 立正大学心理学部教授

【企画主旨】

キャリア支援の場面ではカウンセリングスキルが適切に活用できていないケースが見受けられ、スーパーバイザーになる訓練を受けていない指導者が、事例検討やコンサルテーションとの区別がつかないまま事例指導を行っています。

スーパービジョン委員会の「キャリア・カウンセリングにおけるスーパービジョンのあり方と課題」では、スーパービジョンという評価的な指導方法の本質や問題点と、キャリア・カウンセリングの実践家の発達を促すスーパービジョンとその機能について議論します。

キャリア・カウンセリングにおけるスーパービジョンについての問題提起と司会進行は SV 養成部会長の小澤康司さんにお願ひし、SV 委員長の三川からはキャリア支援担当者のキャリア発達を促すスーパービジョンとその機能について提案します。本学会のスーパーバイザー資格を有する浅野衣子さんからは、カウンセラーの発達を踏まえたスーパービジョンの配慮や工夫とスーパーバイザーになるためのメンタリング訓練の必要性について、スーパーバイザー訓練生の南陽子さんからは、スーパービジョンを「受ける・活かす」という視点からスーパービジョンへの期待と要望について語っていただきます。

【シンポジスト】

浅野 衣子 (あさの・きぬこ)



株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、キャリア開発カウンセラー(JICD・キャリア開発研究センター認定)、キャリアコンサルタント、スーパーバイザー(日本産業カウンセリング学会認定)、ナラティブ実践協働研究センター スターティングメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー、日本産業カウンセリング学会監事。

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001年独立。キャリア開発支援の実務家として、企業の従業員を対象にキャリア開発ワークショップ CDW やキャリア・カウンセリングを実施。学生から中高年齢者のキャリア・カウンセリングに従事。キャリア支援(キャリア・カウンセリング)をする人たちの支援として、スーパービジョンを実施、地方からでもスーパービジョンが受けられるように2017年からオンラインでのスーパービジョンを実施している。

三川 俊樹 (みかわ・としき)



追手門学院大学心理学部教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程中退。スーパーバイザー&スーパービジョンメンター(日本産業カウンセリング学会認定)、学校心理士スーパーバイザー(学校心理士認定運営機構認定)、上級教育カウンセラー(日本教育カウンセラー協会認定)。日本産業カウンセリング学会元副会長・現 SV 委員長、日本カウンセリング学会常任編集委員、日本キャリア教育学会誌編集委員会委員。

著書に、日本産業カウンセラー協会(編)「産業現場の事例で学ぶ カウンセラーのためのスーパービジョン活用法」(共著、金子書房)、藤田晃之(編)「キャリア教育」(共著、ミネルヴァ書房)などがある。

本学会において2009年にスーパーバイザー養成講座が開講された時から、スーパーバイザーの養成訓練にかかわってきた。スーパービジョンメンターとして活動しながら、スーパーバイザーのスーパービジョン(メンタリング)を担当することができるメンターの養成が喫緊の課題であると認識している。



南 陽子 (みなみ・ようこ)

1977 年生まれ、宮崎県在住。1 級キャリアコンサルティング技能士、シニア産業カウンセラー。

2017 年 5 月当学会スーパーバイザー養成講習 (5 期) を修了後、メンタリングに取り組む。キャリアコンサルタントにとってのスーパービジョンには、多様な理解とニーズがあり、キャリア・カウンセリングに重きを置きたい自分がどのようなスーパービジョンを提供し得るか、また志を同じくするスーパーバイザーと接し、その人自身の成長に資する機会を提供し得るかどうか、試行錯誤を続けている。

個人研究発表「キャリアコンサルタントによる PCAGIP 法の実践とその考察—事例提供者の感想から—」(当学会第 23 回大会)、共同研究発表「キャリアコンサルティングへの PCAGIP 法導入の意義と課題」(日本人間性心理学会第 36 回大会)。

【司会】



小澤 康司 (おざわ・やすじ)

立正大学心理学部教授。広島大学大学院環境計画科学博士課程満期退学。主著に「ライフデザイン・カウンセリングの入門から実践へ」(共著、遠見書房)、「職場で使えるカウンセリング」(共著 創元社)、「緊急支援のアウトリーチー 現場で求められる心理的支援の理論と実践」(共著 遠見書房)「サビカスキャリア・カウンセリング理論 <自己構成>によるライフデザインアプローチ」(監訳、 福村出版)、「International Practices of Career Services, Credentials, and Training」(共著、NCDA) など。

臨床心理士、公認心理師、キャリアコンサルタント、中級産業カウンセラー、スーパーバイザー&スーパービジョンメンター(日本産業カウンセリング学会認定)。日本産業カウンセリング学会前会長・現 SV 養成部会長、NPO 法人日本キャリア・カウンセリング研究会 (JCC) 会長、日本キャリア開発研究センター (JICD) 理事、(一社) 日本ピアメディエーション学会理事、(社福) いのちの電話理事、日本ストレスマネジメント学会理事。

MEMO

●11月23日(月・祝) 大会3日目 12:20~13:50 [Zoom5]

企業内キャリア形成の可能性

—ウィズコロナの今、私たちにできること—

(敬称略、順不同)

シンポジスト 石山 恒貴 法政大学大学院政策創造研究科 教授
田中 研之輔 法政大学キャリアデザイン学部・キャリアデザイン学研究科 教授
司 会 宮内 正臣 株式会社時空工房 代表取締役

【企画主旨】

副職・兼業時代を迎えました。「働き方改革」を企業内で推進していくために、何ができるのか？今、何が求められているのか？

登壇者には、理論的知見のアップデートとビジネス現場での具体的ソリューションを積み重ねる2人の研究者、石山恒貴氏と田中研之輔氏をお招きします。

「キャリア形成、開発」には個人と組織それぞれの取り組みが欠かせません。お二人には個人に向けて、組織に向けて、30分ずつ持論をご展開いただきます。その後、パネルディスカッションに入ります。

オピニオンリーダーである2人の知見と洞察が、いかにシンクロし、ときに、すれ違うのか。ウィズコロナの今、企業内キャリア開発を通じてできることは何か？社員・人事担当者・キャリアコンサルタントに向けた提言をしていただきます。

<テーマ>

キャリア開発(ミドル・シニア) / 人材育成 / 研修 / パラレルキャリア / プロティアンキャリア / タレントマネジメント / 地域

【シンポジスト】

石山 恒貴 (法政大学大学院政策創造研究科教授、博士 政策学)

<プロフィール>

一橋大学卒業後、NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て現職。「越境学習」、「キャリア開発」、「人的資源管理」などが研究領域。人材育成学会常任理事、日本労務学会理事、フリーランス協会アドバイザーボード、NPO キャリア権推進ネットワーク授業開発委員長。

主な著書に『越境学習のメカニズム』(福村出版)、『パラレルキャリアを始めよう!』(ダイヤモンド社)、『地域とゆるくつながろう』(静岡新聞社)、最新刊『日本企業のタレントマネジメント』(中央経済社)



田中 研之輔

(法政大学キャリアデザイン学部・キャリアデザイン学研究科教授、博士 社会学)

<プロフィール>

UC.Berkeley 元客員研究員、日本学術振興会特別研究員 SPD (東京大学)、プロティアンキャリア協会代表理事、企業顧問18社歴任。専門はキャリア論。著書25冊。大学と企業を繋ぐ連携プロジェクトを数多く手掛ける。主な著書に『プロティアン —70歳まで働き続ける最強のキャリア資本術』(日経BP)、『辞める研修 辞めない研修 —新人育成の組織エスノグラフィ』(ハーベスト)他、最新刊『ビジトレ —今日から始めるミドルシニアのキャリア開発』(金子書房)、日経ビジネス・日経STYLE・日経doorsなど連載多数。



【司会】

宮内 正臣 (株式会社時空工房代表取締役、修士 キャリアデザイン学)

<プロフィール>

外資系出版社で編集者7年、義父の税理士事務所で11年勤務の後現職。埼玉大学大学院理工学研究科、和光大学非常勤講師。2級キャリアコンサルティング技能士、1級ファイナンシャル・プランニング技能士。共著に『就職の家庭教師』(マガジンハウス)、『ビジトレ』(金子書房)、監訳書に『プロティアン・キャリア』(プロセスコンサルテーション)



各賞表彰式・学術賞受賞講演 AWARD

●11月23日(月・祝)大会3日目 10:00~11:30 [Zoom5]



・各賞表彰式 15分間

第24回大会 個人研究・事例発表	優秀賞	吉川雅也 殿
同	奨励賞	佐藤敦子 殿・江口圭一 殿
同	奨励賞	木下城康 殿

学会賞・学術賞・特別功労賞等の発表および表彰



・学術賞受賞講演 20分間×3名

————— 第21回学術賞受賞 —————

仙波亮一 殿 九州国際大学

自我脅威が組織機能阻害行動に及ぼす影響

—自己愛タイプ別に見た我が国組織におけるサポートの有効性—

.

————— 第23回学術賞受賞 —————

高橋 浩 殿 ユースキャリア研究所

「やりたいこと」志向の二側面とキャリア発達との関連

.

————— 第24回学術賞受賞 —————

小坂淑子 殿 東京外国語大学

若者が社会に出る前に準備すること：「若年無業者の職業準備性を支援者はどのように評価しているか：障害者雇用における職業準備性との比較」

個人研究発表 RESEARCH PRESENTATION

※ “○”は主たる発表者

[R1] [Zoom1] 座長：原 恵子 11/22(日) 15:00 – 16:40

1	VUCA が働く人の自己成長意欲に与える影響 ○関谷 香奈（法政大学大学院キャリアデザイン学研究所）
2	組合の専従役員経験を通じた職業的発達プロセスに関する探索的検討 ○原 恵子（筑波大学働く人への心理支援開発研究センター） 依藤 聡（j・union 研究所） 清水 康子（j・union 株式会社） 正道寺 博之（j・union 株式会社） 岡田 昌毅（筑波大学働く人への心理支援開発研究センター / 筑波大学人間系）

[R2] [Zoom2] 座長：馬場 洋介 11/22(日) 15:00 – 16:40

1	生涯学習における中高年者のカウンセリング学習と実践について ー若者支援活動に焦点をあててー ○田中 小百合（認定 NPO 法人キャリアデザイン研究所）
2	コロナ禍における無料キャリア電話相談による社会貢献活動 ～その立ち上げと実践・結果報告～ ○太原 靖一郎（共栄大学 国際経営学部） 鈴木 太（キャリア発達研究所） 中山 由起子（トートキャリアクリエーション） 宮城 まり子（キャリア心理学研究所）
3	キャリアコンサルタントの技法・態度・在り方についての検討 ～ジェンドリンの体験過程理論の効果 ○渡部 昌平（秋田県立大学）

[R3] [Zoom1] 座長：古田 克利 11/23(月・祝) 14:00 – 15:40

1	デベロップメンタル・ネットワークがデベロッパー（メンター）にもたらす獲得利益とそのプロセス ○谷口 千砂（法政大学大学院 政策創造研究科） 石山 恒貴（法政大学大学院 政策創造研究科）
2	企業で働く人の職業生活における心理的居場所感の低下・喪失状態に関する探索的研究 ○中村 准子（筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター） 岡田 昌毅（筑波大学 人間系）
3	キャリア相談頻度と仕事の成果の関係 ーワーク・エンゲイジメントの媒介効果に着目してー ○古田 克利（立命館大学）

[R4] [Zoom2] 座長：杉山 崇 11/23(月・祝) 14:00 – 15:40

1	<p>アンガーマネジメント研修の有効性の検討 – 従業員の自己愛に着目して – 仙波 亮一 (九州国際大学現代ビジネス学部) ○石井 真奈 (まなのき)</p>
2	<p>イラショナルキャリアビリーフと就職活動の関連 ○森本 康太郎 (大阪国際大学)</p>
3	<p>注意欠陥・多動性障害傾向 (行動スタイル) の測定尺度作成の予備的研究 ○杉山 崇 (神奈川大学) 三浦 玲 (法政大学/熊本大学大学院)</p>

[R5] [Zoom1] 座長：小玉 一樹 11/23(月・祝) 15:50 – 17:30

1	<p>企業内 キャリア カウンセリングに関する一考察 – X社の「キャリアカウンセリングの担い手」に着目して – ○一柳 晶子 (法政大学大学院キャリアデザイン学研究科)</p>
2	<p>企業内キャリアコンサルティングにおける個人と組織のコンフリクト キャリアコンサルタントが果たす役割の検討 ○黒沢 拓夢 (東京大学大学院教育学研究科、労働政策研究・研修機構アシスタントフェロー) 高橋 浩 (ユースキャリア研究所) 新目 真紀 (職業能力開発総合大学校) 下村 英雄 (労働政策研究・研修機構)</p>
3	<p>企業と高等教育機関の連携による目指すキャリア支援 ～これから必要とされる人材育成を見据えて～ ○服部 文彦 (南山大学) 三浦 玲 (法政大学/熊本大学大学院) 田原 数哲 (豊橋創造大学短期大学部) 小泉 健司 (キャリア研究オフィス) 長坂 廣幸 (6NPO 連合・キャリア夢叶塾)</p>

[R6] [Zoom2] 座長：三好 真 11/23(月・祝) 15:50 – 17:30

1	<p>ARCS モデルに基づいた学生のキャリア選択自己効力感を高める強みプログラム開発 ○三浦 玲 (法政大学/熊本大学大学院) 杉山 崇 (神奈川大学) 合田 美子 (熊本大学 教授システム学研究センター)</p>
2	<p>親のキャリア関連行動が大学生のプロティアン・キャリアと進路選択自己効力感に与える影響 ○芦原 万智子</p>
3	<p>「特別支援教育」に関わる教師を支える要因に関する探索的研究 ○小松原 智子 (中京大学)</p>

[M1] 音声スライド発表

1	「ほめらレター」ワークを社会人に適用した際の効果 ○小倉 泰憲（山形大学）
2	ハプンスタンス学習の発生確率を高めるグループ・インタビュー・ワーク ーハプンスタンス学習のプロセスにおける好奇心の重要性に着目してー ○吉川 雅也（関西外国語大学）
3	コロナ禍で自身の生き方を変える経営者のさまざま ーBeing ワークショップの中で起きたことー ○堀之内 高久（有限会社メンタリング研究所）
4	職場におけるキャリア自律の促進と効果 ○堀内 泰利（筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター） 原 恵子（筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター） 野村 圭司（株式会社ライフワークス） 岡田 昌毅（筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター、筑波大学人間系）
5	非就業時の経験がワーク・エンゲイジメント及びバーンアウトに与える影響について ○今井 裕介（広島大学） 相馬 敏彦（広島大学）
6	キャリア支援者の指導者養成プログラムの効果の検討 ○高橋 南海子（明星大学） 原 恵子（筑波大学） 西内 華寿美（筑波大学） 岡田 昌毅（筑波大学）
7	リスク・コミュニケーションから考える コロナ禍における産業医の役割 ○米沢 宏（ジャパンEAPシステムズ）

MEMO

自主シンポジウム SYMPOSIUM

S1 [zoom3]	カウンセリング、時代が変わっても変わらないもの
----------------------	-------------------------

11/22(日) 15:00 – 16:40

企画者：浅野 衣子 株式会社キャリア開発サポーターズ

司会者：文川 実 JICD（日本キャリア開発研究センター）

パネリスト

- 八巻 甲一 JICD（日本キャリア開発研究センター）
- 国重 浩一 NPACC（一般社団法人ナラティブ実践協働研究センター）

激動する今日、さまざまなことが変化の中でカウンセリングの実践も変化していくのだろうか、それとも、変わらないものがあるのだろうか。今回、カウンセリングの原点であり、現在でも主流であるカール・ロジャーズのパーソン・センタード・アプローチと、常に新しいものを取り入れようとしてきた家族療法や社会構成主義の潮流に位置づけられるマイケル・ホワイトらのナラティブ・アプローチを取り上げる。それぞれを専門にしているカウンセラーが、お互いのアプローチを意識しながらも、みずからのアプローチについて語り、時代が変わろうともカウンセリングで大切にすべきことについて検討していく。

S2 [zoom4]	オンラインによるキャリアサービス ～その可能性と課題～
----------------------	-----------------------------

11/22(日) 15:00 – 16:40

企画者：長谷川 能扶子 有限会社 C マインド代表

パネリスト

- 増田 保美（厚生労働省キャリア形成支援室 室長補佐）

オンラインキャリアコンサルティングの必要性が急速に高まっています。これまで対面を基本としてきたキャリアコンサルティングにおいて、オンラインでの実施に不安や戸惑いがある方もいらっしゃるかもしれません。しかしながら、オンラインを活用することで、場所や時間などの制約を超え、クライアントがキャリアコンサルタントに相談できる機会が得られるということは、社会インフラとしてキャリアコンサルティングを根付かせる上で、重要なツールの1つとなるのではないかと感じています。

- 渋谷 英雄（東洋大学 客員教授、日本オンラインカウンセリング協会 理事）

インフラ変化と共に、相談手段は大きく広がりました。手紙から電話そして、メール。近未来では、バーチャルリアリティを用いた遠隔感覚へと拡大しつつあります。支援者は、変化するもの【相談予約システム、ビデオ電話や SNS 相談、グローバル遠隔相談】変化しないもの【紙の図書館、フィジカルセラピー、体験主義】を見定める必要があります。また、日々の現場では、非対面で得るもの【物理的効率、情報効率、情緒的分離】、失うもの【早期信頼の醸成、情緒的雰囲気観察】などを知る必要があります。非対面で後者をどのように補完し、支援とし得るかが今後の課題となります。

- 中村 憲生（SGO Holdings LLC CEO）

コロナ渦でテレワークへの関心が高まっていますが、時期が早まっただけで、確実に社会の大きな変化は起きています。ありとあらゆる産業において、今後、オンライン化、テレワークは必然で、その対応を見誤ると、取り残された状況を迎えます。産業革命で情報社会の次に来るのは創造社会で、かつて経験したことのない変化になります。AI、IoT、ブロックチェーンがもたらす社会の変化は、オンラインカウンセリングの世界も同様でしょう。リアル(対面)とライブ(zoom)とオンデマンド(ビデオ)のハイブリット化された効率の良いモデルに変化させ、今後に耐えうるモデルを確立しなければなりません。

- 水野 修次郎（ライフデザインカウンセリング研究所 所長）

オンラインカウンセリングの倫理的課題には、守秘義務への配慮、オンラインに関連するテクノロジー使用に関連するリテラシー、それに関連するリスク管理などがあります。オンラインに不適なクライアントには対面カウンセリングの提供も課題です。クライアントに何らかの不都合、視覚、聴覚がある場合の対応が求められます。研究の課題は、オンラインカウンセラーの教育とコンピタンスです。オンラインでの面接やサービスの提供は、対面でのサービス提供と何がどのように異なるのか、どのような限界と可能性があるのかのエビデンスが必要です。

S3 [zoom3]	企業領域に関わるキャリアコンサルタントにとって大切な視点と学び ～木を見て森を見て、もう一度木を見る～
----------------------	--------------------------------------------------------

11/22(日) 15:00 – 16:40

企画・進行：小倉 浩靖 EMCA / PLAYWORKLAB, Inc.代表

パネリスト

- 山本 浩司 厚生労働省キャリア形成支援室 室長
- 藤田 真也 特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 会長
- 山口 満 一般財団法人 ACCN 理事
- 柴田 郁夫 一般社団法人 地域連携プラットフォーム 代表
- 仁平 幸子 オリーブキャリア 代表
- 早川 徹 N キャリアプロデュース 代表

生産人口の減少、価値観の多様化など企業にとって苦しい状況の中、追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの感染が拡大し、雇用の在り方までもが変化を始め、従業員に対するキャリア支援は益々必要とされる状況が予想されます。

企業領域に関わるキャリアコンサルタントの雇用主は企業ですから、結果的に企業が良くならなければ存在意義は認められません。この部分は養成講座で学ばれた「目の前の相談者の利益のために」とは相容れない関係のようにも感じられ、先へ進み難い要因のひとつにも思われます。

データでは企業に席を置くキャリアコンサルタントは急速に増加傾向にありますが、業務としてキャリア支援に関わられているキャリアコンサルタントの数は少なく、セルフ・キャリアドック等外部からの支援においても、企業から理解が得られず、身につけたスキルも活かさないまま、フェードアウトしていく方も多く見受けられます。

どのようなスキルを身につけたら個人も良くなり組織にメリットがある支援ができるのか？そしてキャリア支援の大切さを経営層や人事責任者へ正しく説明ができるのか？参加者の皆さまと一緒に深めて行けたら幸いです。

S4 [zoom3]	キャリアコンサルティングの実際とその支援・指導について：サポートにおける社会正義・SDG's・ディーセントワークをどう扱うか ～フランスなど諸外国の動きから～
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------

11/23(月・祝) 14:00 – 15:40

企画者：五十嵐 敦 福島大学

パネリスト

- 藤田 廣志 東海ライフキャリア代表
- 星野 宏 キャリアサポートオフィス process 代表
- 田崎 慎子 悠久の風株式会社 代表

混迷を深める経済・社会状況下において、キャリアコンサルタントは絶えず検討と工夫が求められている。このシンポではキャリアコンサルタント養成やその支援に関わりながら、自ら実践も展開しているシンポジストから話題提供を行う。そのことで、キャリアコンサルタントの活動における課題や拠って立つ理論とその背景などについても検討してみたい。

話題提供者はキャリアコンサルタントの更新講習や支援に実際に携わっている3人が行う。藤田は、フランスの事情に詳しく国内での講習やスキルトレーニングで高い評価をえている。星野は大学で学生の支援に当たるほか企業など幅広いフィールドで活躍している。そして、田崎は現場でのサポート活動のほか各種講習などの企画マネジメントを行っている立場である。3人とも1級キャリアコンサルタント技能士として活躍中で、興味深い話題提供から多くの示唆が得られるものと期待される。

産業・経済の成長期に生まれた多くのキャリア関連の理論やアプローチはさまざまな修正や再構築が求められている。ここでは特にフランスにおける取り組みを参考にキャリア支援のあり方を検討してみたい。あわせて重要なキーワードとなっている社会正義・SDGs・ディーセントワークなどを軸に現場目線でのとらえ方など取り上げてみたい。そのうえでこれからの日本におけるキャリアコンサルタントのあり方やアプローチについて、よりよいサポートの可能性を探るために求められる取り組みについての議論の場にしたい。

S5
[zoom4]

大学院で学ぶことの意義（大喜利風）

11/23(月・祝) 14:00 – 15:40

企画者：宮内 正臣 大会実行委員長、株式会社時空工房代表

パネリスト

- 一柳 晶子 法政大学大学院
- 関谷 香奈 法政大学大学院
- 宮内 正臣 法政大学大学院
- 廣田 奈穂美 筑波大学大学院
- 田北 順子 筑波大学大学院
- 岩元 健一郎 筑波大学大学院

ほか

大学院の修了生、現役生が社会人大学院での悲喜こもごもをユーモアを混ぜながら語ります（浴衣をまとった大喜利風）。研究計画から研究方法、修士論文執筆の苦勞、仕事・家庭・研究のマルチタスクぶり、同期のピアサポート…。大学院生活を通じて変化・成長したことは何か？修了して現在起きていることは何か？みなさまからのご質問にもお答えいたします。キャリアといえば筑波か法政かで迷われている方も多いと思いますので、パネリストに両大学院生を迎えました。研修会で質的研究・量的研究法を学ばれたみなさま、ぜひ今後のキャリアの参考にしていただければと思います。

S6
[zoom3]

キャリア支援者は社会正義を実現できるのか

11/23(月・祝) 15:50 – 17:30

企画者：渡部 昌平 秋田県立大学

パネリスト

- 木下 城康 公益財団法人モラロジー研究所
- 田中 小百合 認定NPO法人キャリアデザイン研究所
- 堀口 恵子 Career Story 代表
- 渡部 昌平 秋田県立大学

大会テーマの1つでもある社会正義、OECDや世界銀行などでも注目される概念で、格差・不平等・貧困の解消という文脈で語られることが多いように思います。パネリストからは自らの研究や実践で把握されたこと・感じたことを発表いただき、フロアの皆さんと共に日本における社会正義の実現に向けた課題等について、情報・意見交換をしていきたいと思っています。

S7
[zoom4]

パワハラ対応・対策でカウンセラーができること

11/23(月・祝) 15:50 – 17:30

企画者：廣川 進 学会会長・法政大学キャリアデザイン学部教授
海上保安庁メンタルヘルス対策アドバイザー、同パワーハラスメント防止対策委員

パネリスト

- 下園 壮太 メンタルレスキュー協会理事長 海上保安庁パワーハラスメント防止対策委員
- 戸上 尚子 海上保安庁 主任メンタルヘルス対策官
- 田中 淳子 トレノケート株式会社 人材教育シニアコンサルタント

2020 年はハラスメント関連法案が改正され、「パワハラ」についても防止措置をとることが事業主の義務になりました（中小事業主は 2022 年から）。企業でも「ハラスメント対策」への関心は高まり、研修会の依頼も多くなっています。今回は法改正の要点をまとめた上で、海上保安庁でのこの 3 年間のハラスメント対策の取り組みの紹介と企業の研修会やハラスメント対策用の映像教材を作成した会社から現場の実態を紹介してもらいます。会社に合わせた対策の方針、ガイドライン、対応する窓口などのしくみ作りから、苦心したポイント、被害者へのケアはもちろん、再発防止へむけた行為者への教育などについても触れたいと思います。今後、カウンセラーとして個人、組織にどうかかわることができるか、一緒に考えます。

MEMO

第 25 回（オンライン）大会 後援団体機関芳名

- 厚生労働省
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 独立行政法人 労働者健康安全機構
- 公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会
- 公益財団法人 日本生産性本部
- 公益財団法人 関西生産性本部
- 特定非営利活動法人 キャリアコンサルティング協議会
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 特定非営利活動法人 キャリアカウンセリング協会
- 特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
- 中央労働災害防止協会
- 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
- 中央職業能力開発協会
- 日本学生相談学会
- 一般社団法人 日本カウンセリング学会
- 日本キャリア教育学会
- 一般社団法人 日本キャリアデザイン学会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2020年10月吉日
一般社団法人 日本産業カウンセリング学会
第25回大会実行委員長 宮内 正臣

第 25 回（オンライン）大会 広告賛助団体芳名

- 一般財団法人 ACCN（オールキャリアコンサルタントネットワーク）
- 一般社団法人 地域連携プラットフォーム
- 株式会社 日本マンパワー
- 株式会社 金子書房
- 株式会社 金剛出版
- ベリテワークス株式会社
- 一般社団法人 雇用問題研究会
- 有限会社 C マインド
- 株式会社 ターブル・ドット
- 株式会社 キャリア・ストラテジー

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2020年10月吉日
一般社団法人 日本産業カウンセリング学会
第25回大会実行委員長 宮内 正臣

個から組織へ

一般社団法人
地域連携プラットフォームの
更新講習 &
「組織キャリア開発士」資格



一般社団法人地域連携プラットフォーム 知識講習

自宅で受講できるeラーニング講習。国が定める9領域について、映像とpdf資料を通じて最新の知識や考え方を得ることができる知識講習。

・費用8,500円

知識講習：8時間

「セルフ・キャリアドック」の 導入・継続実施と組織活性化を担う ファシリテータ養成講習

組織にキャリアコンサルティングを導入するための手順、「変革支援」を行う「ファシリテータ」になるためのスキル、企業等へのアプローチ手法等が実践的に学べる講習。

・費用12,500円

技能講習：6時間

キャリアコンサルタントが 組織に働きかけ チェンジエージェント(変える人) となるためのセミナー ～OD(組織開発)の基礎と実践プロセス～

キャリアコンサルタントが「企業領域」でいま以上に活躍できるようになるための考え方や手法を、「組織開発(OD)」と呼ばれる領域の知見を学び実践する事で習得。

・費用16,000円

技能講習：7時間

“キャリア・アンカー”の 日本における 効果的活用法 ～エドガー・シャインの組織心理学演習～

組織心理学の泰斗シャイン博士は「日本人にはキャリアアンカーはない」という衝撃発言をしています。文化的な背景も探りつつこの理論の日本での効果的活用を探究。

・費用18,500円

技能講習：7時間

【グループワーク技能】 対話型OD研修、 AI(アプリシエイティブ・インクワイアリー)と 社会構成主義、ポジティブ心理学

OD(組織開発)を用いた対話型企業研修の代表的手法である「AI」のベースとなったポジティブ心理学と社会構成主義を学び、AIの流れもしっかりと把握できる講習。

・費用18,500円

技能講習：7時間

【グループワーク技能】 AI(アプリシエイティブ・インクワイアリー) キャリアコンサルタント版 の体験学習

企業に対して「AI」研修を提供できるようになるための講習。実際にAIの4Dサイクルを体験することを通じ、組織と個人の真の価値を見出し、それを未来につなげる講習。

・費用18,500円

技能講習：7時間

組織開発(OD)の知見を通じて、個と組織の変革を導く

組織キャリア開発士

『NTLハンドブック』をテキストに実践的なスキルを獲得。好評開講中。



【会場】 志木サテライトオフィス (東武東上線「柳瀬川」駅西口すぐ、サミットの上4階)

【主催】 一般社団法人地域連携プラットフォーム

【お申込み】 TEL：048-476-4600 / mail：info@careerjp.work URL：http://careerjp.work/cck/

人生100年時代

働く人の 自律的キャリア形成を支援する

人生100年時代と言われます。働き方や生き方が多様化するなか、政府は「人生100年時代構想会議」等を発足させ、「従業員のキャリア自律と多様な学ぶ機会の整備」が政策キーワードとなっています。日本マンパワーは「キャリア開発」「人材開発」のパイオニアとして、これからも「イキイキ働く人がふれば社会はかわる」を事業コンセプトに個人・組織・社会の諸課題を総合的に解決するサービスを提供してまいります。

日本マンパワーのサービス領域

キャリア開発

自律型人材を育成するためのキャリア開発・教育研修サービス

組織開発

自律型人材が組織の活性化に最大限貢献するための組織開発サービス

制度構築

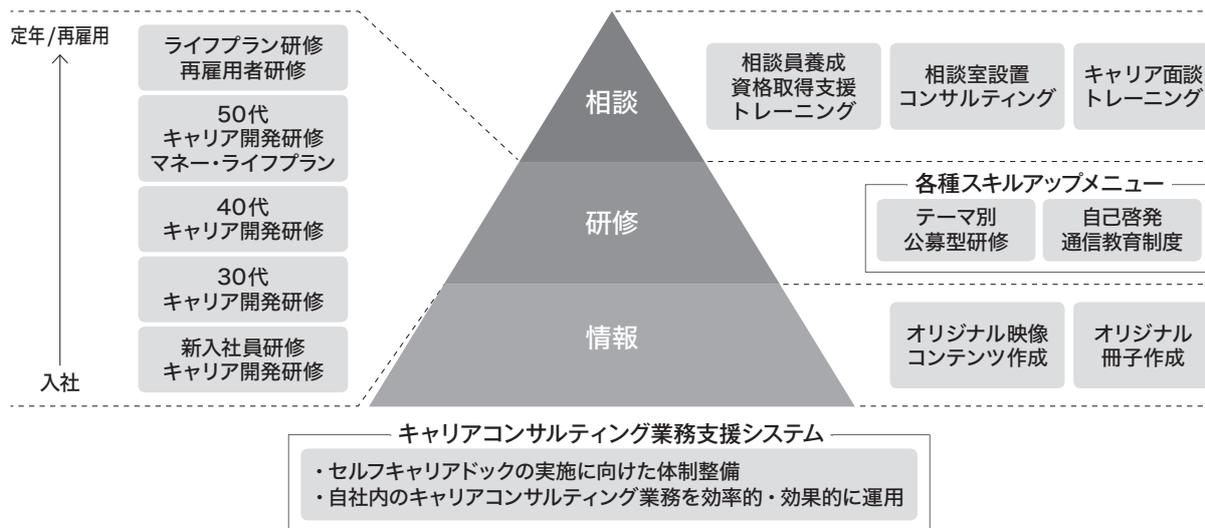
自律型人材を育成するための人事・研修制度構築のコンサルティングサービス

国家資格キャリアコンサルタント (CDA) の養成

上記施策を支えるキャリア形成支援の専門家としての資格取得を支援。厚生労働大臣認定講習「キャリアコンサルタント養成講座（総合）～CDA資格対応～」を全国各地で開講。

日本マンパワーが考える企業内キャリア開発支援の全体像

年代別のキャリア開発研修と、相談機能の設置、情報提供で自律的キャリア開発をトータルにサポートします。



本社/東京都千代田区神田東松下町 47-1

日本マンパワー

検索

<http://www.nipponmanpower.co.jp>

<企業内キャリア開発支援についてのお問い合わせ・資料請求>

札幌 TEL 011-221-0377 東北 TEL 022-221-7991 東京 TEL 03-5294-5070 中部 TEL 052-218-4122
北陸 TEL 076-422-1223 関西 TEL 06-6266-3355 中四国 TEL 082-249-0945 九州 TEL 092-720-7030
(平日 9:00～17:30 土・日・祝休み)

<キャリアコンサルタント資格取得についてのお問い合わせ・資料請求>

CDA 事務局 TEL 03-5294-5030
(平日・土日 9:00～18:00 祝日・年末年始を除く)



オンライン版 新発売!

Tokyo University Egogram-New Ver. 3

新版

TEG[®] 3

東大式エゴグラム (テグ・スリー)

東京大学医学部心療内科 TEG研究会 編

交流分析理論に基づいた性格検査

選べる実施・採点方式 『新版 TEG 3』には、オンライン版 (CAT 版)、検査用紙、マーク式用紙があります。

	実施	採点
オンライン版 CAT 版	オンライン 入力	オンライン 採点
検査用紙	筆記	手採点
<input checked="" type="checkbox"/> マーク式用紙	筆記 (マーク)	コンピュータ 採点

CATとは…

オンライン版は、コンピュータ適応型テスト (Computerized Adaptive Testing: CAT) です。毎回すべての項目に回答する検査用紙・マーク式用紙とは異なり、**回答にあわせて最適な質問項目が選択・提示**されます。より少ない項目数*で精度の高い測定ができることが特徴です。

新版 TEG 3 オンライン版

回答者・検査者の負担の軽減に

オンラインで心理検査を実施・採点できるシステム

オンライン版

心理検査オンライン

『新版 TEG 3 オンライン版』のご利用には、「**心理検査オンライン**」へのご登録が必要です。

実施

検査者は「管理サイト」にて、実施の準備 (各種設定) を行います。
回答者は、「新版 TEG 3 回答サイト」にログインし、回答します。
*マニュアルが必要です。

採点・レポート

「管理サイト」にて、検査者用と回答者用の結果レポートが作成されます。
*回答者が回答後に結果をそのまま閲覧できるように設定することもできます。

検査者用
エゴグラム・プロフィール
T 得点・5段階コード
回答者用コメント*

回答者用
エゴグラム・プロフィール
回答者用コメント*

*回答者用コメントは、表示・非表示を選択できます。

※回答の傾向によっては、項目数が多くなる場合もあります。

オンライン版	心理検査オンライン	登録料 (初回のみ)	10,000 円+税
	新版 TEG 3 オンライン版	1名分	300 円+税

心理検査オンライン

詳細は金子書房ホームページをご覧ください。

品名	定価
検査用紙 (30名分1組)	本体 8,100 円+税
検査用紙 (10名分1組)	本体 2,800 円+税
マーク式用紙 (10名分1組) [コンピュータ採点用]	本体 2,000 円+税
コンピュータ採点料	1名分 本体 1,100 円+税 201名以上1名分 本体 750 円+税
エゴグラム早わかり (10名分1組)	本体 3,000 円+税
マニュアル	本体 3,500 円+税

K 金子書房

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-3-7
TEL: 03-3941-0111・FAX: 03-3941-0163
<https://www.kanekoshobo.co.jp>

◆本商品に関するお問い合わせは、弊社ホームページ内「**心理検査お問い合わせフォーム**」をご利用ください。

TEGは株式会社金子書房の登録商標です。

キャリアカウンセラーのためのスーパービジョン

経験代謝理論によるカウンセリング実践ガイド

立野了嗣 著

経験から学ぶ構造を理論化した「経験代謝理論」をもとに、キャリアカウンセリングにおけるカウンセラー自身の「自己概念の成長」、さらにはカウンセラー自らが自らのカウンセリングをマネジメントする「セルフスタディスーパービジョン (S-SV)」を解説。詳細な逐語録からなる事例研究には演習やエクササイズが用意され、設問に答えながら事例を読むことで、自分を振り返るスキルがみるみる身についていく。 B5判 並製 208頁 本体3,200円+税



働く人のこころのケア・ガイドブック

会社を休むときのQ&A

福田真也 著

産業医経験も豊富でリワークも手掛けるベテラン精神科医が、働く患者さんから実際に寄せられる相談・質問に答えたQ&Aが182問!

四六判 272頁 本体2,600円+税



不眠症に対する認知行動療法 マニュアル

日本睡眠学会教育委員会 編

不眠症に対する認知行動療法は、どのようにして進めていけばいいのか? 本書では、治療者用・患者用両方のマニュアルを掲載。

B5判 144頁 本体2,800円+税



自殺学入門

幸せな生と死とは何か

末木 新 著

ヒューマンティの視点から語られることが多かった自殺や自殺予防について、科学的な知見や様々な考え方を紹介しながら考察する。

A5判 194頁 本体2,800円+税



ポジティブ心理学コーチングの実践

S・グリーン, S・パーマー 著
西垣悦代 監訳

職場のメンタルヘルスを向上させるためにウェルビーイング領域におけるポジティブ心理学のコーチングへの拡張を論じる。

A5判 336頁 本体4,200円+税



若者のためのコミュニケーションスキル練習帳

学生の就活支援および新入社員教育のために

秋山 剛 監修
集団認知行動療法研究会 著

若者に社会人として身につけてもらいたいコミュニケーションスキルの基本を、豊富な場面設定から1つずつわかりやすく解説。 A5判 238頁 3,200円+税



事例でわかる思春期・おとなの自閉スペクトラム症

当事者・家族の自己理解ガイド

大島郁葉 編著

小さいころに自閉スペクトラム症と言われなかった当事者と家族のための、アセスメントや診断プロセスを分かりやすく解説した自己理解ガイド。

四六判 248頁 2,800円+税



臨床心理学

Vol.20 No.4 特集 カウンセラーの「問う力・聴く力」

増刊第12号 治療は文化である — 治療と臨床の民族誌

臨床心理学の今を伝える専門誌 B5判160頁/年6回(隔月奇数月) 発行/本体1,600円+税(増刊2,400円+税)/年間購読料12,000円+税(増刊含む, 送料小社負担)

精神療法

Vol.46 No.3 特集 アサーション・トレーニングと心身の健康

増刊第7号 疾患・領域別最新認知行動療法活用術

わが国唯一の総合的精神療法研究誌 B5判130頁/年6回(隔月偶数月) 発行/本体2,000円+税(増刊2,800円+税)/年間購読料14,800円+税(増刊含む, 送料小社負担)

Veritéworks

理想のワークスタイルを目指すなら私たちにおまかせください。

**現場社員・人事・経営者。三者の立場を経験している
カウンセラーだからこそできるサポートがあります。**

カウンセリングを特別に考えていませんか？
「最近、新人の元気がない」「現場のとりまとめ役が苦勞している様だ」...
そんな時こそ、メンタルヘルスケアのエキスパートがサポートします。

Counseling Service

カウンセリングサービス

ストレスチェック義務化への対応、メンタルヘルスなど、現場や人事の問題を解消するためのお手伝い。

Human Resource Service

人事労務サービス

社会保険労務士、人事コンサルタントなど専門リソースの力を結集し、人事労務、制度構築、採用、教育の支援。

Training Seminar Service

研修セミナーサービス

自社ですぐ実践できるメンタルヘルス対策やそのノウハウなど、事例を交えてわかりやすく、広く皆さんにお伝えします。

ベリテワークス株式会社 Veriteworks Inc.

〒114-0013 東京都北区東田端2-5-14

クロコダイル第2ビル5階

TEL.03-5842-1905 <https://veriteworks.co.jp/>



キャリアコンサルタントの必携書



キャリアコンサルティング 理論と実際 **5訂版**

カウンセリング、ガイダンス、コンサルティングの一体化を目指して

木村 周 著

日本産業カウンセリング学会特別顧問

5訂版
好評発売中!

キャリアコンサルティング、キャリア・カウンセリングを学ぶ多くの人にロングセラーとして読まれてきた『キャリアコンサルティング 理論と実際』の5訂版。

昨今のキャリア形成支援の制度的環境整備の状況を反映し、最新の研究成果、産業・経済的動向や関係労働施策等を詳解。広範にわたるその諸理論を紹介・解説した第1部と、実践に即した具体的方法について包括的に詳説した第2部より構成。

著者の思いを綴った別章『働く現場に想う』を附す。

●定価3,300円(本体3,000円)
ISBN978-4-87563-269-6

一般社団法人 雇用問題研究会 <http://www.koyoerc.or.jp> ■〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 ■電話 03-5651-7071

質の高い支援ができるキャリアコンサルタントは
クライアントを幸せにします。
そして、クライアントの幸せは、その家族や職場の
幸せにもつながります。
Cマインドは、キャリアコンサルタントが活き活き
働けるよう支える事で、社会に貢献します。

代表取締役

長谷川 能扶子

専任スーパーバイザー

三好 真

専任キャリアカウンセラー

小林 暖

有限会社 C マインド

東京都新宿区市谷砂土原町2-7-19 田中保全ビルC号室

HP : <http://c-mind.jp/>

お問い合わせ : info@c-mind.jp



厚生労働大臣の指定する知識講習

オンライン更新講習 キャリアコンサルタント知識講習



講師紹介

高原真美先生：1級キャリアコンサルティング技能士（第1章、第2章、第3章）
小林浩志先生：特定社会保険労務士法人（第4章、第7章）
濱野裕貴子先生：キャリアカウンセラー、大学講師（筑波大学、国士舘大学他）（第5章）
大塚泰正先生：筑波大学人間系准教授（第6章、第8章1節）
堀口康太先生：白百合女子大学専任講師（第8章2節）



オンラインだから好きな時間で更新講習！

“もっと学びたい” 対人支援職者の方々に役立つ様々な教育映像をお届けします

株式会社 ターブル・ドット

受講はこちらから →



ひとりひとりを生かして育てる
キャリア・ストラテジーの研修

心理士・精神保健福祉士
不登校カウンセラー
教育カウンセラー
産業カウンセラー
キャリアコンサルタント
防災士
業務提携講師募集中！

職場やキャリアコンサルティングの「場」で使える 実践的な技能講習でスキルアップ！

キャリアコンサルティングの プロセスを進める質問技法

☆実践の場で使える「質問技法」をワークを通して学び習得する。
☆キャリアコンサルティングにおける信頼関係構築力を高める。

技能講習（オンライン研修）
6時間 費用：18,000円

キャリアコンサルティングに おける信頼関係構築力向上のための アサーショントレーニング

☆アサーションを実際の業務・グループアプローチで活用するため相談者との信頼関係構築の基礎知識を習得し、自らの認知、感情を理解し自己信頼を高める演習を行う。

技能講習（場所：東京高田馬場）
6時間 費用：18,000円

株式会社キャリア・ストラテジー
〒108-0074 東京都港区高輪2-14-14高輪グランドハイツ5F
TEL:03-6676-3926 <https://careersg-oneonone.jp>



一般社団法人 日本産業カウンセリング学会 第 25 回（オンライン）大会

2020 年 11 月 1 日 初版

2020 年 11 月 10 日 改訂版

2020 年 11 月 11 日 改訂版

2020 年 11 月 16 日 改訂版

大会実行委員長 宮内 正臣（株式会社時空工房）

大会実行委員

廣川 進（法政大学）

杉山 崇（神奈川大学）

古田 克利（立命館大学）

吉川 雅也（関西外国語大学）

小倉 浩靖（合同会社プレイワークラボ）

塚田 亜弓（HR ラボ株式会社）

佐藤 美礼（日本キャリア・コンサルタント協会）

古田 かおり（法政大学大学院研究生）

小玉 一樹（福山平成大学）

高橋 浩（ユースキャリア研究所）

馬場 洋介（帝京平成大学）

下村 英雄（労働政策研究・研修機構）

三浦 玲（法政大学）

木南 絵里（株式会社ターブル・ドット）

名取 記世美（横浜市港北区役所）

土田 博司（当学会事務局長）

協 力 法政大学

大会特設サイト <https://jaic25th.conf/>

大会チケット予約 <https://jaic25th.peatix.com/>

本大会のお問合わせ e-mail : taikai@jaic.jp

大会以外のお問合わせ

一般社団法人 日本産業カウンセリング学会

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 1020 号室

TEL & FAX : 03 (5228) 4418 e-mail : info@jaic.jp HP : <https://jaic.jp/>



キャリアコンサルタントによる
キャリアコンサルタントの為の職能団体

「一般財団法人ACCN」

～All Career Consultant Network～

みんなの「生きる」を

キャリアでつなぐ。ACCN

All people

全ての人が自らキャリアを考え生きる社会を作る

Career development support

生涯にわたるキャリア発達を支援する

Career maturity/change agent

キャリアコンサルタント自身がキャリア成熟・成長する

Networking

全てのキャリアコンサルタントがつながり、社会ともつながるネットワークを作る

キャリアコンサルタントの「活動ステージ」を共に

「キャリア」の視点から公的なミッションやキャリアに関わる様々な団体とつながり、社会に必要とされる更なる実践活動と社会への発信を行なっています。

「活動ステージ」は会員の数だけあります。

皆さまのご参加をお待ちしております。



一般財団法人ACCN (エーシーシーエヌ)

〒105-0011

東京都港区芝公園1-6-8泉芝公園ビル5階

TEL 03-5402-3392 (平日10:00～18:00)

お問合せ先: support@allccn.org



会員サポートの詳細や入会についてはこちら